



- 01 新年のごあいさつ:2026
- 02 新年のごあいさつ
- 03 新年のごあいさつ  
新年のごあいさつ  
やまばとギャラリー
- 04 [第50回] 東海北陸脳神経筋  
ネットワーク研究会が当院で開催されました  
通所支援事業のひとコマ
- 05 2病棟の子どもたちの生活のひとコマ  
糖尿病ワンプointアドバイスNo.18
- 06 病院からのお願い／外来診察のご案内

## 新年のごあいさつ

国立病院機構三重病院 病院長 菅 秀



新年あけましておめでとうございます。昨年も、地域の皆さまに支えられながら、当院は安全で質の高い医療の提供に努めてまいりました。心より感謝申し上げます。

AI(人工知能)をはじめとした科学技術の進歩により、社会における様々な分野において変革が起こっています。医学、医療における進化も目覚ましく、かつては診断・治療が困難であった疾患に対しても適切なアプローチを行うことが可能となってきました。しかしながら、医療は「科学」であると同時に「人の営み」です。診療ガイドラインやエビデンスに基づく標準的治療を行うことは大切ですが、それを支えるのは、患者さん一人ひとりに寄り添う姿勢です。診察室での対話、看護師のケア、リハビリスタッフの励まし——その一つひとつが、皆さまにとって少しでも心強いものになるよう努めてまいります。

冬の季節は、インフルエンザや新型コロナウイルスなど、感染症の流行が懸念されます。特に今シーズンのインフルエンザは例年より早く流行が始まっているため、注意が必要です。当院では、院内感染防止のため、標準予防策と感染経路別予防策を徹底し、職員教育やシミュレーション訓練を継続しています。医療従事者一人ひとりが「自分の行動が患者さんの安全を守る」という意識を持

ち、手指衛生、個人防護具の適切な使用、換気管理など、基本を徹底することを常に心がけています。

一方で、感染症対策は患者さんや地域の皆さまにもご協力いただくことが欠かせません。難しいことではありません。手洗い、うがい、マスクの着用、そして換気——これらは最も効果的な予防策です。ご自身を守るだけでなく、大切なご家族や周囲の方々を守ることに繋がります。ぜひ、日常生活の中で無理なく続けていただければと思います。また、ワクチン接種は感染症を防ぐ大切な手段です。当院では、予防接種外来でのワクチン接種はもとより、三重県予防接種センターを設置し接種に関する情報提供や相談体制を整えていますので、不安な点があれば遠慮なくお尋ねください。

本年も、国立病院機構三重病院は、地域のみなさまに急性期から慢性期まで切れ目のない医療を提供し、災害時や感染症流行時にも揺るがない体制を維持します。医療者としての責任を果たしながら、地域の皆さまとともに歩む一年にしたいと思っています。皆さまのご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

午